

# WHAT

## トルコ・アンカラ大学

文教育学部 人文科学科  
グローバル文化学環 4年  
遠山未来

### 【トルコを選んだきっかけ】

大学一年生の春休みに、学科の友人とトルコへ旅行に行ったことがきっかけでした。むかしふるさとにあったトルコ文化村という観光施設ではたっていたトルコ人と親しかったこともあり、はじめて訪れたトルコにすごく懐かしさを感じたことと、もともと関心のあった中東やイスラームをトルコを通して学びたいとおもったこともきっかけです。

### 【アンカラ】

トルコはちょっと離れただけでも、地域によって気候や景観、文化、人間模様までも変わります。わたしはトルコの真ん中アナトリア地方にあるアンカラという街で生活しました。アンカラは首都ということもあって建物もおおく立ち並ぶ近代的な街並みが印象的ですが、古都イスタンブールの活気に比べるとまだまだ寂しいものがあります。わたしはさいごまでアンカラの重たくて冷たい雰囲気が好きになれなかったのですが、アンカラは交通の中心に位置していたこともあり、おかげで旅行するにはとても便利でした。

### 【学校】

ほとんどの留学生が前期をトメルで過ごし、後期から大学で講義を受けることになります。トメルはアンカラ大学が運営する外国語スクールで、わたしたちはそのなかのトルコ語コースで勉強します。いろいろな国から生徒が来ていて面白いこともたくさんあったのですが、なかでも日本人留学生をもっともおどろかせたのがトルコ語の文法をほとんど知らない外国人がいちばん積極的にトルコ語をしゃべっていたこ

と！それとみんな誕生日になると自分からケーキを買って教室でパーティーを開いていたのですが、これってどこの国の習わしだったのでしょうか・・・。

### 【旅行】

いちばん心に残っているのは、はじめて訪れたトルコの田舎町や海への旅行です。帰国の直前に地中海の小さな町に行ったのですが、例年よりも一カ月早い海開きで5月の海水浴を満喫しました。トルコの海はどこもヨーロッパからの観光客が多いので、わたしたちは日本人でトルコ語もわかるということでホテルを営むトルコ人夫婦にたいへん親切にいただきました。ホテルに宿泊していた別のトルコ人夫婦とみんなでおしゃべりすることがおおかったのですが、旦那さんがとても物知りな方でトルコのいろいろなことを話して聞かせてくれました。それで政治のことをはなしているときトルコはこのままだと戦争みたいになってしまうとも言っていたのですが、まさかこんな近くに大きなデモが起こるなんて想像していなかったです。